

# 室内楽の愉しみ

～ホルン・ヴァイオリン・ピアノの融合～



ホルン：福川 伸陽  
(NHK交響楽団首席奏者)



ヴァイオリン：長原 幸太  
(読売日本交響楽団コンサートマスター)



© 武藤 章

ピアノ：田村 響

～予定プログラム～

平井京子：雲を揺らす 第2番 (世界初演)

J. ブラームス：ホルン三重奏曲 Op.40

E. エルガー：愛の挨拶 他

※プログラムは変更になる場合がございます。予めご了承ください。

2018 土曜日

2/24 守山市民ホール  
小ホール

13:30 開場 / 14:00 開演

※本コンサートは、(公財)三井住友海上文化財団の助成により  
低料金に設定しています。

※未就学児童の入場はご遠慮願います。

※前売りで完売した場合、当日券の販売はございません。予めご了承ください。

主催：守山市、(公財)守山市文化体育振興事業団、滋賀県、(公財)三井住友海上文化財団



全席指定 (税込)

一般 / 前売

1,000円

高校生以下 / 前売

500円

当日は 500円増

10/22 発売

■■■プレイガイド■■■

守山市民ホール……………077-583-2532

キタダレコード……………077-582-3251

守山市駅前総合案内所……………077-514-3765

LaLaツーリスト/モリーブ店…077-581-1095

お問合せ：守山市民ホール：077-583-2532

<http://www.moriyamabuntai.com/wp/>



## ホルン：福川 伸陽 / Nobuaki Fukukawa

「福川伸陽のホルンの響きが聴こえてくると、世界が一瞬にして変化するような気がする。ここではない世界のどこからか、不意に風が吹きわたってくるかのよう。」(毎日新聞)

「技のデパート」(音楽の友)

「日本のホルン演奏の歴史を変えたといっても過言ではない」(日本ホルン協会)

2008年、第77回日本音楽コンクール ホルン部門第1位受賞。

ソリストとして、小林研一郎、沼尻竜典、下野竜也、手塚幸紀、梅田俊明、山下一史、藤岡幸夫、鈴木優人らの指揮者と、京都市交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、N響メンバーによる室内オーケストラ、横浜シンフォニエッタ、兵庫芸術文化センター管弦楽団、東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団他と共演している。

国内外の重要な指揮者、演奏家の信頼も篤く、特にライナー・キュッヒル(ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター)、ハインツ・ホリガー(オーボエ奏者、作曲家)との共演は記憶に新しい。

全国各地においてホール主催のコンサートシリーズにも数多く招かれており、「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン」「東京・春・音楽祭」をはじめとする音楽祭にも多数出演。ホルンのレパートリーの拡大をライフワークとして、作曲家への委嘱や世界初演を積極的に行っている。福川伸陽のために書かれた作品は、吉松隆「Spiral Bird Suite」、藤倉大「PoyoPoyo」、田中カレン「魔法にかけられた森」、川島素晴「Rhapsody in Horn」、酒井健治「告别」、鈴木優人「世界ノ雛型」「モーツァルティアーナ」、狭間美帆「Letter from Saturn」など数十曲に及ぶほか、現在、藤倉大にホルン協奏曲を委嘱している。

ソロ活動はフレンチホルンの分野に留まらず、ナチュラルホルン、ウィナーホルン、フランス式ピストンホルンなどのピリオド楽器にも及び、特にバロックホルンにおいてはバッハ・コレギウム・ジャパンへも客演した。

近年は室内楽にも力を入れ「N響精鋭メンバーによるハルモニウムジーク」やソリスト達で構成される木管アンサンブル「東京六人組」などで積極的な活動を展開。リサイタルや室内楽、協奏曲の演奏は、NHK、テレビ朝日、フジテレビをはじめ、ドイツ、イタリアなどでも放送された。

20歳より日本フィルハーモニー交響楽団の首席奏者を務め、2013年、NHK交響楽団に入団、2015年には首席奏者に就任した。

ホルンを丸山勉、故田中正大、ブルーノ・シュナイダー、デヴィッド・パイアット、ジョナサン・リプトンの各氏に師事。在英時にはロンドン交響楽団にも客演した。

キングレコードよりソロCD「Rhapsody in Horn」「ラプソディ・イン・ホルン Ⅲ」をリリースしている。

オフィシャルウェブサイト [www.nobuaki-fukukawa.com](http://www.nobuaki-fukukawa.com)



## ヴァイオリン：長原 幸太 / Kota Nagahara

1981年、広島県呉市に生まれる。東京芸術大学附属音楽高等学校を卒業後、同大学に進学。その間に全額スカラシップを受け、ジュリアード音楽院に留学。

1992年、93年、連続して全日本学生音楽コンクール全国第1位。

1994年、第6回ヴィニエアスキー国際ヴァイオリンコンクール17歳以下の部第3位。

1998年、第67回日本音楽コンクール最年少優勝。レウカディア賞、鷲見賞、黒柳賞を受賞。

五嶋みどりレクチャーコンサートにて奨励賞受賞、ニューヨークに招かれ、同氏のレッスンを受ける。

また、サイトウ・キネン若い音楽家の為の勉強会にて、小澤征爾指揮のもと、ソリストやコンサートマスターを務め、サイトウ・キネン・オーケストラにも最年少参加。

12歳で東京交響楽団と共演したのを皮切りに、日本各地の主要オーケストラ、小澤征爾、故・岩城宏之、秋山和慶、ゲルハルト・ボッセ等の名指揮者と共演。

ソリスト以外にも、室内楽奏者、各オーケストラのゲストコンサートマスター、アルグリッチ国際音楽祭、宮崎国際音楽祭、やまなみ国際音楽祭等、各地の音楽祭にも積極的に出演。演奏を通じてのボランティア活動にも力を入れている。

海外での活動も活発に行っており、2003年、英国の湖水地方で開催されている「夏の音楽祭」に招かれ、リサイタルや室内楽の演奏会で絶賛を博した。2005年、再度、同音楽祭に招かれた他、同じく英国の「ライディール音楽祭」にも招かれ、高い評価を得た。

1993年、1994年、広島市長賞「広島フェニックス賞」、広島県教育長賞「メイプル賞」受賞。

1998年、広島国際文化財団「ヒロシマ・スカラシップ98」、2000年、第10回広島ホームテレビ文化・スポーツ賞(最年少受賞)、東京芸術大学の福島賞等、受賞多数。

2007年、大阪市「咲くよこの花賞」受賞、「広島文化賞 新人賞」受賞。

2004年9月、大阪フィルハーモニー交響楽団首席客演コンサートマスターに就任、2006年4月から2012年3月まで首席コンサートマスターを務める。

これまでに村上直子、小栗まぢ絵、故・工藤千博、澤和樹、ロバート・マンの各氏に師事。

日本音楽財団より、ストラディヴァリウス1700年製「ドラゴネッティ」を2009年2月まで貸与された。

2011年、「第21回新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞」受賞。

2014年10月、読売日本交響楽団コンサートマスター就任。

2015年1月公開 映画「マエストロ!」コンサートマスター演奏指導。「エネルギー音楽賞」受賞。



## ピアノ：田村 響 / Hibiki Tamura

2007年10月パリで開催された世界的なコンクールのひとつであるロン・ティボー国際コンクールにおいて冠弱20歳で第1位に輝き、一躍世界に注目されるに至った。合わせて、ショパン、フォーレ、ラフマニノフ(協奏曲)、新曲課題の最優秀演奏者に贈られる各賞を受賞。以来、ザルツブルク・モーツァルテウムで研鑽を積み、国際的な演奏活動を展開している。

2009年2月にはビシュコフ指揮ケルン放送交響楽団の定期演奏会デビューと日本ツアーを行った他、これまでにN響、都響、読響、日本フィル、新日本フィル、名古屋フィル、京響、大阪フィル、関西フィル、群響、九響、山形響、札幌響などと共演。活動は日本全国各地をはじめ、ドイツ、フランス、オーストリア、オランダ、ポーランド、イタリア、ロシア、エジプト、ブラジル、ベトナム、中国、台湾におよぶ。

室内楽活動にも力を入れており、これまでにマキシム・ヴェンゲーロフ、アントニオ・メネセス、堀米ゆづ子、篠崎史紀、竹澤恭子、宮田大、三浦文彰の各氏等と共演している。

これまでに4枚のソロCDをリリース。2003年アリオン賞、第14回大幸財団丹羽奨励生、2006年第16回出光音楽賞、2008年文化庁長官表彰・国際芸術部門、安城市市民栄誉賞、2009年第10回ホテルオークラ音楽賞、2015年第70回文化庁芸術祭音楽部門新人賞、愛知県芸術文化選奨文化新人賞受賞。現在京都市立芸術大学専任講師、大阪音楽大学特任講師として後進の指導にもあたっている。

JRで来館のお客様

新快速で約24分

守山 ← 草津 ← 彦根 ← 大津 ← 京都 ← 大阪

新快速で約54分

守山駅からの路線バスのご案内 平成29年8月1日現在

守山駅西口	守山市民ホール(立命館守山)	路線名
12:30	→ 12:52	杉江循環線
13:00	→ 13:10	立命館守山線(直行)
13:15	→ 13:23	木の浜線(江若バス)
13:30	→ 13:40	立命館守山線(直行)

※杉江循環線は到着所用時間が約22分となります。  
※ダイヤ改正の場合もございます。事前に近江バスのホームページにてご確認ください。

